

みえライフイノベーション推進事業 事業報告

日比野剛*, 足尾大樹*, 舟木淳夫*, 中西晴彦**,
中村 敬**, 谷澤之彦**, 前川明弘**, 中村創一***

Annual Report of MIE-Life Innovation Promotion Project

Tsuyoshi HIBINO, Hiroki ASHIO, Atsuo FUNAKI, Haruhiko NAKANISHI, Kei NAKAMURA,
Yukihiko TANIZAWA, Akihiro MAEGAWA and Soichi NAKAMURA

1. はじめに

三重県では、医療・健康・福祉産業などのヘルスケア産業を成長分野産業として定め、「みえライフイノベーション推進事業」として、戦略的な振興を進めている。また、平成 29 年度より県内ものづくり企業などの技術力向上のため、産学官連携で分野別に研究活動を行う「みえ産学官技術連携研究会」を開催している。「みえ産学官技術連携研究会」は令和 7 年度にリニューアルして、工業研究所と新産業振興課が連携して研究会を進めることとなった。その中で、ヘルスケア分野の研究会として「ライフイノベーション研究会」を立ち上げた。

電子機械研究課およびプロジェクト研究課では、IoT や AI を用いた DX 化や、医療・介護分野を対象とした製造技術に関するヘルステックに着目した「ライフイノベーション研究会（ヘルステック WG）」を担当し、技術調査、「第 1 回介護施設見学会」、「介護施設見学会個別マッチング会」などを実施した。

食と医薬品研究課では、化粧品製造（医薬品製造も含む）企業の支援を行うための「ライフイノベーション研究会（化粧品 WG）」を担当し、「化粧品評価研究会」を開催した。また、県内の医薬品等製造企業の日常業務における課題解決を目的とした「みえ薬事研究会」を開催した。以下に主な活動内容について報告する。

* 食と医薬品研究課
** 電子機械研究課
*** プロジェクト研究課

2. ライフイノベーション研究会（ヘルステック WG）

2.1 技術調査

医療・介護製品を製造する企業や、病院・介護施設など 12 社を訪問し、生産技術に関するシーズやニーズ、病院・介護施設が抱えている課題などについてヒアリング調査を行った。企業訪問の際に要望があった課題については、技術支援（3 件）で対応した。

また、同技術に関する情報について広く収集するために、臨床工学技士との医工連携マッチング会（藤田医科大学、永井病院）、ニプロ展示会（滋賀県）メディカルクリエーションふくしま 2025（福島県）、日本眼科医療機器学会併設機器展示会に参加した。

2.2 介護施設見学会

介護分野への進出を検討している企業が、介護ロボットをはじめとする最新のテクノロジーを数多く導入している施設を訪問し、設備見学や業務で求められる課題などに関する意見交換を行う「第 1 回介護施設見学会」を令和 7 年 10 月 20 日（月）に開催した（表 1、図 1 参照）。また見学会終了後、希望のあった企業と介護施設が個別面談し、企業が有する技術の介護現場での適用性などについて相談するマッチング会を令和 7 年 12 月 24 日（水）に開催した（表 2 参照）。その結果、両方で製品開発を行う方向で進めるといった成果が得られた。

今後も本研究会の開催を通して、医療・介護分野に興味を持つ企業を開拓するとともに、現場ニーズなどを把握しつつ、企業との共同研究、企業支援につなげる取り組みを進めたい。



図1 見学会の様子

3. ライフイノベ研究会（化粧品 WG）

県内の化粧品製造企業の技術力向上を目的に、「化粧品評価研究会」を令和7年11月26日（水）に開催した（表3参照）。現在、化粧品分野の製品評価において行われる触感評価は、ヒトの触覚による官能評価で実施されている。しかし、官能評価には客観性や再現性に乏しいという問題点があるため、製品の評価結果を数値データとして取得することが求められている。そこで、物性評価装置を使用し触感を数値化することにより、客観性および再現性のあるデータを得ることをテーマに研究会を開催した。カトーテック株式会社の河内 敬氏を講師に迎え、同社の風合い試験機（主に KES®シリーズ）を用いた、ヘアケア製品における毛髪の摩擦特性やしなやかさの評価、スキンケア製品における塗布感や肌触りの評価など、具体的な事例について講演していただいた。

講演後、化粧品の物性や使用感の評価などにおける科学的データの取得に関して、講師を交えて参加者と意見交換を行った。意見交換では、製品の評価方法のほか、化粧品の標準品、におい（匂い、臭い）に関する課題などについて、活発な議論が交わされた。また、研究会後のアンケート結果より、スキンケア製品の製品および使用感の物性評価についても非常に関心が高かったことから、次年度以降の研究会のテーマとして検討する予定である。

4. みえ薬事研究会

令和6年度まで開催していた「みえ薬事研究会医薬品等品質管理研究会¹⁾」をリニューアルし、「みえ薬事研究会」として開催した。研究会の開催に先

立ち、参加希望者に検討したい分野（品質保証、品質管理、その他）と検討したい研究テーマを募集し、「品質保証（QA）班」、「品質管理（QC）班」および「GMP 基礎班」に班分けした。研究会は、表4に示すとおり、3回の合同研究会と班ごとの研究会を開催した。第1回合同研究会では、研究会の進め方、県庁薬務課製造監視指導班への質問方法および班分けについて説明した後、各班に分かれて研究会を開催した。第2回合同研究会では、各班から研究テーマの進捗状況を報告していただいた後、薬務課製造監視指導班より「三重県の医薬品等製造業における最近の指摘事項」の紹介、事前質問への回答を行った。第3回合同研究会では、各班から研究テーマの進捗状況を報告していただいた。班ごとの研究会では、参加企業同士による品質保証や品質管理業務上の疑義や査察対応等に悩む案件をもとに情報交換や意見交換を行った。みえ薬事研究会は来年度以降も継続する予定である。

その他、研究会参加者の要望により、メトラートレド株式会社の数井 博氏および高柳庸一郎氏を講師として、第十八改正日本薬局方第二追補における「はかり（天秤）及び分銅」の要求事項に関するセミナーおよび質疑応答を令和7年12月16日（火）開催した。

また、DX、AIを活用した先進事例紹介のセミナーを令和8年2月24日（火）に開催した。「医薬品製造業におけるDXの実践と展望」として、万協製薬株式会社の岩田大輔氏、西野 良氏により同社が販売している製薬QA業務効率化AI「QAI シリーズ」の開発経緯と取組事例について紹介いただいた。また、同社の共同開発先である株式会社EQUES 岸尚希氏と株式会社ユニオンシンク 飛延涼太郎氏により最新のAIツールの紹介および展示を実施いただいた。

謝辞

「ライフイノベ研究会」の開催にあたり、見学を受け入れていただいた社会福祉法人鈴鹿福祉会鈴鹿グリーンホーム様、講演を快諾いただいたカトーテック株式会社様および参加いただいた企業の方に感謝いたします。また、「みえ薬事研究会」に参加いただいた企業の方に感謝いたします。

参考文献

1)梅谷かおりほか：“みえライフイノベーション推

進事業 事業報告”。令和 6 年度三重県工業研究所研究報告，49，p72-73 (2025)

表 1 第 1 回介護施設見学会の概要

事業名	みえ産学官技術連携研究会ライフイノベーション研究会 ヘルステック WG 第 1 回 介護施設見学会
開催日	令和 7 年 10 月 20 日（月）13：00～16：00
場 所	社会福祉法人 鈴鹿福祉会 鈴鹿グリーンホーム
参加企業数	5 社 8 名
内 容	1. 施設の概要及び業務内容の説明 2. 施設見学 3. 質疑応答 * 報道機関 2 社から取材があり，当日の様子が報道された。

表 2 介護施設見学会 個別マッチング会の概要

事業名	みえ産学官技術連携研究会ライフイノベーション研究会 ヘルステック WG 介護施設見学会 個別マッチング会
開催日	令和 7 年 12 月 24 日（水）13：00～15：00
場 所	社会福祉法人 鈴鹿福祉会 鈴鹿グリーンホーム
参加企業数	2 社 2 名

表 3 令和 7 年度に開催した化粧品評価研究会の概要

	開催日	会場	内容	企業参加 人数
化粧品評価研究会	令和7年 11月26日（水）	工業研究所	- 講演「ヘアケア・スキンケア製品の触感評価と最新試験機の活用」 講師：カトーテック株式会社 河内 敬氏 - 研究会参加者による意見交換	19名/14社

表 4 令和 7 年度に開催したみえ薬事研究会の概要

	開催日	会場	内容	企業参加 人数
第1回 合同研究会	令和7年8月1日（金）	工業研究所	・研究会の進め方説明 ・薬務課への質問方法 ・班分け	21名/12社
第2回 合同研究会	令和7年12月5日（金）	工業研究所	・各班からの活動内容報告 ・三重県の医薬品等製造業における 最近の指摘事項について ・薬務課からの質問回答	26名/14社
第3回 合同研究会	令和8年3月11日（水）	工業研究所	・各班からの活動内容報告	18名/10社
品質保証(QA)班 研究会	令和7年8月1日（金）	工業研究所	・GMP査察・監査指摘事項等の最新情 報の共有 （標準品の保管湿度管理，文書管理 ，AI・DX導入の実例と課題，原料サ ンプリング方法の妥当性，コンプラ イアンスへの取組，製薬用水，測定 機器における時刻管理，第十九改正 日本薬局方への対応状況他）	8名/7社
	令和7年10月17日（金）	工業研究所		11名/9社
	令和7年12月5日（金）	工業研究所		11名/9社
	令和8年2月6日（金）	工業研究所		11名/9社
	令和8年3月11日（水）	工業研究所		8名/7社
品質管理(QC)班 研究会	令和7年8月1日（金）	工業研究所	・JP第二追補で追加された、天秤の管 理項目への対応 ・米国FDA Part11にある記録・署名の 電子化 ・HPLCの監査証跡	8名/7社
	令和7年9月26日（金）	工業研究所		12名/7社
	令和7年12月5日（金）	工業研究所		10名/6社
	令和8年2月13日（金）	工業研究所		11名/7社
	令和8年3月11日（水）	工業研究所		8名/6社
GMP基礎班 研究会	令和7年8月1日（金）	工業研究所	・参加企業同士の工場見学 ・意見交換を通じた現場ノウハウの共 有と自社改善への活用	2名/2社
	令和7年9月22日（月）	工業研究所		5名/3社
	令和7年10月28日（火）	木村石鹼工業株式会社		7名/4社
	令和7年11月18日（火）	株式会社アスター美容		5名/3社
	令和7年12月5日（金）	工業研究所		2名/2社
	令和8年2月3日（火）	睦化学工業株式会社		6名/4社
	令和8年2月20日（金）	株式会社ミルボン		4名/3社
日本薬局方におけ る「はかり（天 秤）及び分銅」の 要求に関するセミ ナー	令和7年12月16日（火）	工業研究所	・講演「第十八改正日本薬局方第二追 補「はかり（天秤）及び分銅」の要 求について」 ・質疑応答 講師：メトラートレド株式会社 技術サービス事業部 数井 博氏， 高柳庸一郎氏	17名/13社
DX先進事例セミ ナー 「医薬品業界にお けるDXの実践と展 望」	令和8年2月24日（火）	工業研究所	・DXツール紹介及び展示 文章自動生成AI「QAI Generator」に ついて 講師：株式会社EQUES 岸 尚希氏 品質管理システム「品質デザイナー for GxP」について 講師：株式会社ユニオンシンク 飛延涼太郎氏 ・講演「医薬品製造業におけるDXの実 践と展望」 講師：万協製薬株式会社 品質管理部 品質保証課 岩田大輔氏，西野 良氏	24名/16社